

震災後のわが社

富士フィルムワコーケミカル 株式会社

所在地：広野町
事業内容：情報記録用有機化合物、医薬品原薬、
治験薬などの製造、研究



当時、神奈川の平塚工場では高い確率で相模沖地震が起きる可能性があるということから、地震によるリスクを分散させるために平成元年に福島県の浜通りにある広野町に工場を建設しました。

それから広野町に根付いて23年、あろうことか地震のリスク回避とした広野のこの地で未曾有の東日本大震災に遭ってしまいました。この地震そのものの被害はそれなりにありましたが、思ったよりも被害は少ないものでした。それよりも地震発生の翌日から工場が封鎖させられる原因となる、誰も経験したことのない放射能が問題でした。幸いにも我々のグループ会社で放射能を取り扱っているFRIという会社が千葉県にありました。放射能の専門家である彼らの強力な支援を受け、特別に行政の許可を得て被災して間もない、周りにひとりいない広野工場に選ばれた数人が立ち入り、3日置きに放射能のデータを収集して観測を続けました。1ヶ月もすると強い放射能を放出する半減期8日のヨウ素131はほとんど無くなりました。それと同時に広野工場を復旧させる手立てを考えるとともに、FRIと共同で近隣住民の方々にも説明会を開いて放射能の知識を与え、町の復興に大きく寄与いたしました。

広野工場の復旧は、最初は僅か5人からでした。その作業たるや過酷なもので、メディアで目にするように第一原発の作業員が着ている白いつなぎ、我々は一般的に商品名のタイベックと言っておりますが、これを着てマスクをしながら除染をし、地震で崩れたものを整理するという作業を延々と繰り返していきました。もう毎日が熱中症の一手手前でした。それからひと月もすると神奈川の工場に一時避難を兼ねて働いていたメンバーたちを徐々に広野工場に戻すことができ、10月には広野町長をはじめ近隣の企業の方たちを招いて復興祭を盛大に執りおこなって完全に工場の機能を元に戻しました。

2004年に緑化推進功労者の内閣総理大臣賞をいただいた当工場ですが、放射性物質を除去するために表土の約5cmをはぎ取り、大体の樹木を切り払ってほとんど丸坊主にしてしまいました。なかでも樹齢が80数年となる工場のシンボリック的な杉の木を伐採したときには何とも言えない気分になりました。しかし、震災後1、2年も経つと工場の敷地を緑が覆うようになり、震災前にこの主といわんばかりに往來を闊歩していたキジも舞い戻って、除染で被った痛手もほとんどわからないようにまできました。そして、震災後に国および県の補助金を活用して医薬品製造プラントを、リニューアルも含めて3棟建設することができました。おかげさまで広野工場のメンバーも震災前の102名から140名まで増加しました。この間に復興のモデル工場として、弊社を経団連初め多くの企業が視察に訪れ、また多くのメディアにも取り上げられました。

一方で、現在は、広野町の住居などの問題はすべて解消されていますが、震災後数年間は広野町も復興に手が回らず増えてくるメンバーや出張者の住居をどうするのかという問題がありました。そうしたなか、今までの寮に加えて、新しい地主さんのご好意もあって独身者、単身者用の立派な寮を新たに建設することができました。

また、この広野工場をなんとか盛り上げようと震災後に始めた、町役場、近隣企業を交え地域一体となっておこなう夏祭りも夏の風物詩としてすっかり工業団地内に定着しました。これも広野工場の盛り上げ策として5年ほど前からの社内バス旅行も復活させました。広野工場ができたころには毎年社内の行事としておこなっていましたが、いつのまにか経費削減の理由で消滅してしまいました。このバス旅行の復活には弊社の労働組合の意向が大きく寄与しています。組合活動といえば、毎年組合独自にバーベキュー、いちご狩り、スキーツアー、運動会など年間行事として催しを企画しています。このことからわかるように弊社は労使一体となって歩み続けています。

そして、特筆すべきことは、広野工場が広野町に進出して以来、現在に至るまで31年間無災害記録を続けていることです。弊社は有機溶剤という危険物を取り扱う工場として特に安全には配慮を施しています。

弊社は今現在、多くの医薬品メーカーから治験薬製造の依頼を受けています。治験薬というのは医薬品として世の中に出る前段階の薬で、薬の有害性や薬効などを最終的に検証するものです。治験段階で問題がみられず、PMDA(独立行政法人 医薬品医療機器総合機構)に承認されたら晴れて皆様の前に薬として誕生するのです。

これからは、これまでの事業に加え、国および県からの補助金で建設したプラントを最大限に活かし、世の中の苦しんでおられる患者さまのためになれるよう、ますます社会への貢献を果たしていきたいと思っております。

それとこの福島県浜通り地方の復興に少しでも尽力できるよう微力ながら頑張っていくつもりです。